

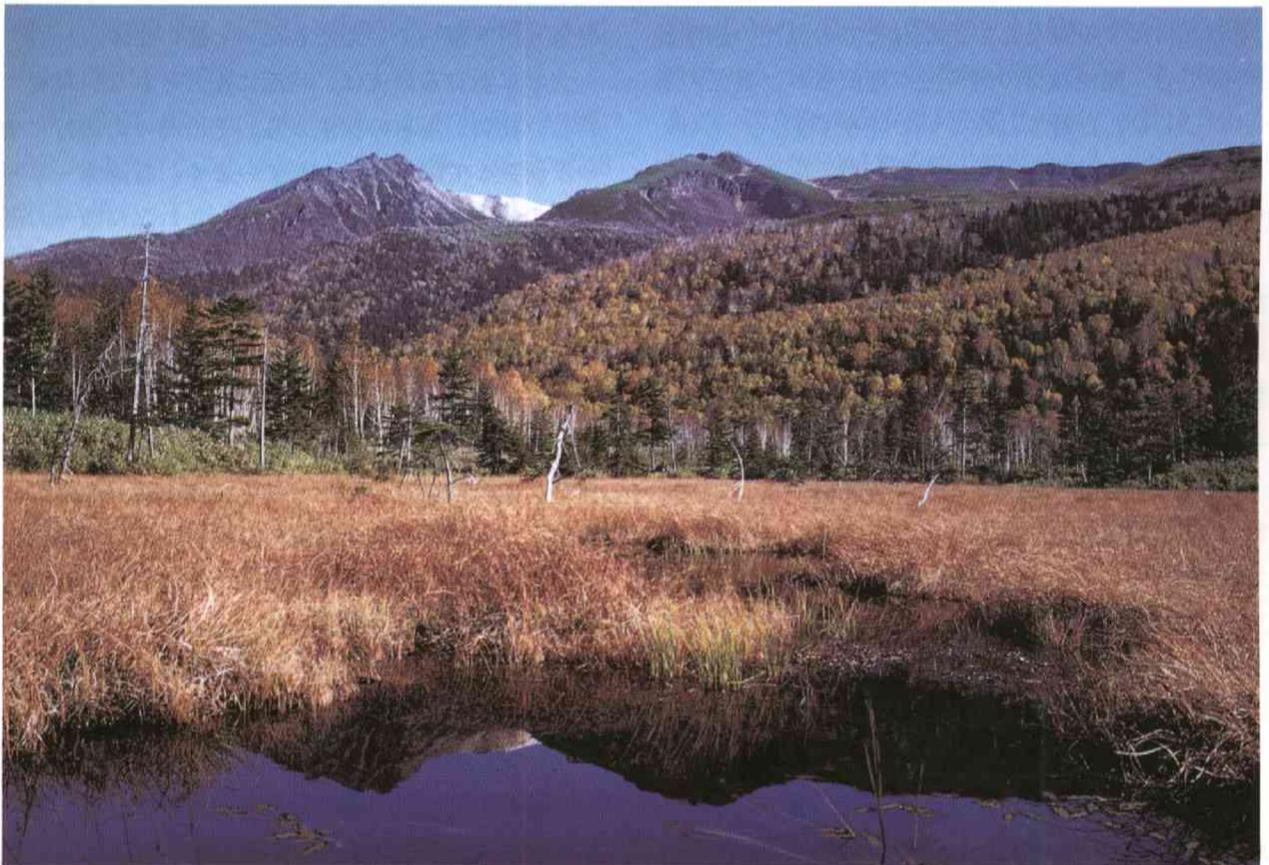
# おぐらおが

(題字は初代学長 山田守英氏)

## 第 88 号

平成 8 年 9 月 17 日

編集 旭川医科大学  
 厚生補導委員会  
 発行 旭川医科大学教務部学生課



(写真撮影 施設課長 藤井 博文)

小沼に映る愛別岳

副学長に就任して……………片桐 一… 2	医大祭を終えて……………三関 哲矢… 8
人間の弱さを洞察する力を……………岡田 洋子… 3	第43回北海道地区大学体育大会…………… 9
二度目の人生のスタート	第39回東医体(夏季)開催される…………… 9
一痛みのわかる医師を目指して……………吉田 哲也… 4	平成8年度後期分授業料免除及び延納・分納について……………10
旭川医大に入学して……………大武由希子… 4	平成8年度日本育英会奨学生の募集について…10
旭川医科大学に留学して……………コーリー ウィ… 5	学生教育研究災害傷害保険の加入について……………10
クラブ今昔	卒業生の動向……………11
男子バスケット部今昔……………山中 康裕… 6	看護学科新入生研修……………11
障害者問題研究会の現在……………鈴木 太郎… 6	外国人留学生交流会実施される……………12
講師紹介…………… 7	教官の異動……………12
研究室紹介……………ドイツ語… 8	窓 外……………岩田 銀子…12



## 副学長に就任して

副学長 片 桐 一

この度、6月16日付で教育研究及び厚生補導担当の副学長に就任しました。僅かふた月の副学長職ですが、現在抱えている諸問題、21世紀の本大学の益々の発展を目指して進めていかなければならない事項等々に接するに及んで、これまでの歴代の副学長の御尽力、関係職員の御苦勞が理解され、責任の重さがひしひしと身にしみている昨今です。

旭川医科大学は、社会に貢献し得る医師、医学研究者を養成する大学として成長してきました。この4月からこれらに加えて、高い資質を有する看護職者、看護学研究者を養成する看護学科を発足させ、現在本学は一層充実した医療系大学へ発展する出発点にあると理解しております。大学の使命は、社会の要請に即した医学・医療に携わる人材を育てること、そして医学・看護学の研究を推進すること、そして第一線の先端医療を行うことです。これらを総括、推進している学長を補佐し、効果的な組織運営を大いに勤めようと思っています。

21世紀には、物事を地球規模で考え、国際的に活躍し、100才まで生きる人が多くを占めると言われています。そしてこれに対応できる医師・看護職者の養成が求められています。優秀な学力で入学した本学学生は、均一な学生集団で単科大学という条件からも狭い範囲内の活動が多かったように思われます。これからは学生時代から社会人との交わりを多くし、又学科間の交流を盛んにし、視野の広い人間性豊かな医療人に成長することが望まれます。これらをさらに推進するためには、今後教育カリキュラム、入学者選抜方法等の手直しが必要となると思われます。

将来への展望はさておき、現在の学生諸君には積極的に自ら勉強する習慣を身につけて欲しいものです。我々教官・事務職員が最善を尽くして行っている授業を通して、全ての分野に興味を持つことは困難でしょうが、何か一点でも心に残った事柄を集中

して勉強し、それを広げていくのも一つの方法と思われれます。特に看護学科の学生諸君には、第一期生ということで我々は大きな期待をいできて教育に当たっており、積極的に学び、活躍する姿勢を造り、後輩へ引き継いでいただきたいと思います。

大学における研究は、時流に左右されない純粹に新しい物質、現象の探求から、その時々流行に乗った研究まで幅広く行われています。各講座・学科目での自由な発想に支えられて、これ迄に数々の優れた業績が出ており、更に中央研究組織の充実、有効利用により一層の研究の発展が望まれます。

以前に『研究のすすめ』と題して機器センターニュースに研究について私見を述べました。その中に記した私の恩師から日々言われた「へたな研究、休むに似たり」は今もって私の挙動を縛り続けています。しかし研究成果が瞬時に世界を駆けめぐり現在、研究を休むことは研究放棄に似ています。現在の研究軌道を正しく保ち、時にはドンキホーテの発想で新しい研究に手を出すことも重要と考えています。

学生諸君の心身の健康維持については、保健管理センターの各医師・職員が献身的にお世話しており、学生諸君には心強く感じていると思われれます。又本学では学年担当制度により、勉学はもとより学生諸君の身の諸問題に教官が親身になって相談に乗ってくれます。これらの2本柱を中心に厚生補導を進めていきたいと思っています。

これからの21世紀には、病める人に全人的に対応できる心豊かな医師・看護職者が望まれます。そして各自の有する優れた点を強調する世界、個性を重んじる世界になるでしょう。自分自身で気付かなかった個性は、他人と交わって気付くことが多々あります。学生諸君は正直に自分を出して他との交流を深め、個性豊かな学士に育ってくれることを祈ります。



## 人間の弱さを洞察する力を

看護学科 教授 岡田 洋子

1989年に全国で11校だった看護大学（または看護学部）は、1996年現在45校を越え、さらに看護大学の設置が予定されています。おそくに期した看護教育の大学化は、看護学の発展、ひいては「看護の質の向上」につながるものと、看護に携わる一人として喜んでおりました。

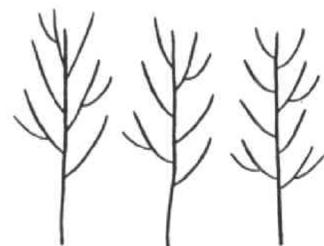
そんな中、縁あって4月から、私自身が大学で看護教育に携わることになりました。長く短大で看護教育に携わってきた私は、4カ月を経た今日、次の二つのことを強く感じ、考えさせられています。その一は「看護の質の向上」を目指しての大学化でありながら、地方大学を中心に全国的に看護教育者の人材不足が深刻であるという現実です。その二は「看護の質の向上」を目指した大学教育とは何か、という問題・課題です。

看護教育カリキュラムは長い間、伝統的な医学モデルで展開されてきました。伝統的な医学モデルでは、看護の知識は主として医学に基づいた内容であり、実践へのアプローチは内科・外科看護、産科看護など、診療科中心の看護に焦点が当てられ、“医師の診療の介助”が看護の主要な役割と考えられていました。その後昭和43年（1968年）に保助看法が改正となり、看護教育カリキュラムは、医学モデルから準医学モデルへと変化・発展を遂げました。準医学モデルでは、看護の知識は医学専門領域とそこから導かれた痛み・呼吸困難・マヒなどの概念に基づく知識、発達段階などに焦点をあて、“生活援助”と“診療の介助”の二つが看護の主要な役割と認識されるようになりました。看護教育は長い間、この準医学モデルで展開され現在に至っていると言えます。1989年のカリキュラム改正では統合看護モデルでのアプローチが志向され、1996年秋に予定されているカリキュラム改正では、さらにその転換が意図されています。統合看護モデルでは、健康連続体上の“人間”に焦点をあて、看護の知識としてあらゆる

健康レベルにある人間の状態に由来する危機、喪失、発達、適応、セルフケアといった学習内容が重要となってきています。実践的には、身体的側面に関する医学的専門知識を必要としながら心理・社会的存在としての人間の自律を援助し発達や適応・自立を支援する、デリケートで鋭い洞察力、人間として慎重かつ暖かな実践活動が主要な役割、と私は考えています。健康時は理性的で判断力をもった人間でも、病気一つで赤ちゃん返りします。そういう心身ともに病んでいる人をケアするのです。

遅れていた看護教育の大学化を喜ぶ一方で、看護教育は過渡的時期ゆえの多くの問題・課題を抱えていることも痛感する毎日です。私の大学での看護教育の取り組みは始まったばかりです。「看護とは何か」「人間とは何か」「教育とは何か」「何を、どう教育しようとしているのか」など謙虚に問い続け、あせらずに、目の前の問題・課題に取り組んでいきたいと考えています。そして「看護の質の向上」を目指した大学教育とは何かを、模索し続けたいと思います。

この夏、天使短大時代の教え子達が旅の途中で立ち寄り、1泊していきました。この教え子達が、そして当看護学科の学生達が担う21世紀の看護・医療は、今まで以上に複雑・高度化してくると思いますが、今まで以上に人間に暖かく、デリケートで、かつ力強いものになっていくであろう事を感じています。また心からそう願っています。



## 二度目の人生のスタート —痛みのわかる医師を目指して—

医学科第1学年 吉田 哲也



私は文化系大学を卒業後13年間に亘り電機メーカーの国際部門に勤務し、本年3月末に会社を退職して入学した35歳の新入生です。従って今回の入学は私

にとって2度目の人生のスタートとなります。

入学に至る迄に一番困ったことは、一般受験生と異なり仕事の都合に依り受験の機会が左右されることでした。1月のセンター試験当日は英国出張と重なり危うく受験不可能の瀬戸際に立たされましたが、幸い顧客の都合で延期となったため、受験することが出来ました。1月29日には受験参考書を携え国際線に乗り込みました。ところが今度は2次試験日がフィンランド出張と重なりましたが3月の期末決算の関係でこれは中止となり、ことなきを得ました。このような数々のハードルがありながらも私が医師の道を選んだのは、病める方々のために直接お役に立ちたいと思ったのが最大の理由です。

敗戦後国民は祖国復興を目指して勤勉に働き、世界中に日本製品をあふれさせる程の急速な経済発展を遂げました。しかし、物質的には豊かになったもののその真の豊かさを実感出来ないのが実情です。それは生産効率第一主義の代償として、いたわりの心、他人の痛みを知る優しさを失った結果ではないでしょうか。特に、かつての産業先兵であった老人や経済成長のはざまにうずもれた弱者に対しては切り捨てる傾向さえ見られます。一方、多くのサラリーマンは厳しい労働環境の中で残業、休日出勤を強いられ、混雑した長時間の痛勤で疲れ果てております。これらを社会で経験した私としては人間性の回復を目指し、これらの人々に対して「心身のいやし」のお手伝いをしたいと思って居ります。

更に、私の過去の業務経験を生かし「国境なき医師団」的な国際貢献をしたいとも思って居ります。インターネットの発達により医学の世界も国際化の流れが益々加速すると思われまます。今後、私の国際的経験が生かせる場を積極的に求めてゆきたいと考えております。

## 旭川医大に入学して

看護学科第1学年 大武由希子



4年間すばらしい思い出と学舎を与えてくれた弘前大学を後にして、北海道で3番目に開学された、この旭川医大看護学科に入学し既に数ヶ月が過ぎようと

しています。予想だにしていなかった1期生としてのプレッシャーと国立大学の枠組みの厳しさに驚いているというのが、今の率直な気持ちなのかも知れません。しかし、第1期生としては今後に向けて単位の認定、教養科目の医学科との合同授業や部活動のあり方など早急に解決してってもらいたい問題があると感じています。それと同時に、自分自身も広い視野を持つこと、さらに、自律の言葉の意味するところを十分に考えていかなければならないと思っています。

看護学科では現在、一般教養科目のほか、専門基

礎科目の形態機能学と基礎看護理論を学んでいます。一般教養科目には数理情報科学等の実習が組み込まれ、科目においても私が今まで学んできたものから変化してきているのだと実感しています。専門基礎科目では特に、基礎看護理論ではグループワークやレポートなど受け身ではいられない講義が多く、自分の考えを表現する、人を理解する難しさに直面し毎回悩むばかりです。それでも、明るく個性的なクラスメイト、とてもパワフルな教官、すばらしい旭川の環境に支えられ励まされて、徐々に看護学の面白さに引き込まれつつあります。

「行き当たりばったりの看護をしないために、確固とした看護観を持つことが大切。だからこそ看護を学ぶなら看護大学に行きなさい。」と、看護職に就く先輩としての母は、いつも誇りを持って私に伝えてきました。今、こうして大学にいられることを家族に感謝するとともに、母の言葉を自分のために活かし、実行していきたいと心から願っています。



## 旭川医科大学に留学して

医学科第6学年 コーリー ウイ

6年前の入学式当時、誰もが私を留学生として見ず、ごく普通の新入生のように見られました。というのは、よく言われるように、私はあまりにも日本人似でした。逆に、私の同級生、しかも人生の先輩でもある浜田様がしばしば留学生として見間違えられることがありました。今思えば、浜田様に対して、本当に迷惑をかけてしまいました。

上述のエピソードはまだ記憶の中で新鮮に刻まれているにもかかわらず、時は「光陰矢の如し」のように、あれから、既に6年が経とうとしています。私も今頃、他の同級生と同じく、どの道に進むべきか、迷っている最中であります。

話変わりますが、私はマレーシアのケラン市の出身であります。マレーシアという国は、恐らく日本人にとって、あまりなじみのない国かも知れませんが、地球儀でみると赤道のすぐ北に位置しています。気候は熱帯性であり、年間を通じて24℃以上であり、20℃以下になることは殆どありません。マレーシアは複合多民族国家であり、主にマレー系、中国系、インド系で構成されています。それぞれの文化を持ちお互いに主張しあって、融合することなく、同じ屋根で平和に暮らしています。

さて、私の来旭に関しまして、よく、「なぜ旭川医大を選んだか」という質問をされます。理由は三つあります。第一に、上述のように、私は生まれも育ちも熱帯地であるため、雪、そして寒い地方での暮らしは常に心の中のささやかな憧れでありました。第二に、私は将来、欧米、特にカナダに、さらに留学したいと思っていて、そのため、旭川の極寒季にさえ慣れてしまえば、将来どこへ行っても耐えられるのではないかという無邪気な願望がありました。最後に、私が大学に入る前に、よくこんな体験話聞かされました。「日本人と親しくなるのは至難なことですよ」。そのため、大学を選ぶ際、なるべく留学生の少ない学校を選びました。そのおかげで

日本人の友達も多くでき、私と同期の留学生に比べると、日本語も断然に上達し、お酒も人一倍に飲めるようになっていきます。

旭川に来てから、最も印象深く残っているのはやはり、四季の移り変わりがはっきりしており、春にはエゾムラサキツツジの紫、夏には、ラベンダーの紫、ポピーの白や赤、ピートや牧草の緑がさわやか、秋には赤い実をつけるナナカマドの並木、エゾ松や紅葉樹等によりおりなす影色が美しく、そして冬の白銀世界も素適です。旭川の自然はまだ沢山残っていて、清潔で空気が新鮮であることもまた魅力的です。食べ物に関しても、特に私の好きな魚貝類はとて新鮮で美味しくいただけることが何よりも魅力的です。

私は今までの「かぐらおか」に登場していた留学生達と違って、自費で来ています。そのため、学内から、学長、副学長を初めとし、教官一同や職員の方々から色々な援助及び助言を受けてまいりました。この場を借りて、ささやかですが、心から御礼を申し上げます。

学外においても、アルバイトの形で、私は色々な人と知り合い、学問で体験できなかったことも体験し、日本語の勉強にもつながり、しかも素手で日本の文化に触れることができました。本当に旭川に来て良かったなあとつくづく思っています。

勉学以外の私生活においても、私は充実した生活を送っています。夏には雄大な北海道の自然を満喫し、冬にはスキーや温泉めぐり等で楽しんでます。学内・外の国際交流にも積極的に参加しています。更に、長年の夢である「国際レストランを大学祭で開くこと」も去年の夏に実現し、好評をいただきました。

最後に、まだ沢山の友達が欲しく、道でばったり会ったら、気楽に声をかけて下さい。旭医大の学部留学生一号として、恥ないように、これからも一生懸命頑張っていきたいと思いますが、どうか暖かい気持ちで見守って下さい。

# ク ラ ブ 今 昔

## 男子バスケット部今昔

医学科第5学年 山中 康裕

旭川医大男子バスケット部は、1期の千葉先生を中心に開学と同時に結成されました。当時、大学には体育館もなく、部員も2人と練習もままならない状態でしたが、5期の浜田先生、6期の徳広先生らの時代には、体制も整い東医体3位と活気が出てきました。また、この頃には女子部も結成され、いい関係を保ちながら現在に至っています。

その後はなかなかいい成績を残せない時代が続きましたが、15期の野口先生、16期の小西先生、鳥井先生、5年の永峯らを中心にした91年度には、タレントが揃い東医体準優勝と、第2の黄金期を迎えました。

近年、チームはゾーンプレスをはじめとした多彩なディフェンスからの「RUN & GUN」スタイルの完成に、6年の国沢、榎本、佐藤(一)らを中心に

取り組み、地区体では3年連続ベスト8と安定した成績を残しています。

本年度は有望な1年生の加入と、2、3年生の台頭もあり、上級生と下級生の力がうまく噛み合った結果、東医体ベスト4、5年振りの全医体出場と好成績を収めることができました。

現在、部員は24名、女子部とマネージャーを含めると約50名と大所帯となりました。練習は週3回と少ない分、密度の濃さと個人練習で補い、明るい雰囲気の中頑張っております。また、今年はOB会が、顧問の久保教授、会長の千葉先生、副会長の宮津先生、和泉先生の御指導の下に設立され、ますますの発展が期待されます。

チームは今、新旧交代の転換期を迎えていますが、全医体でも活躍した新キープラン、3年の佐藤(大)を中心に、悲願の東医体制覇へ向けて一丸となっていきたいと思えます。

## 障害者問題研究会の現在

医学科第4学年 鈴木 太郎

障害者問題研究会(障問研)は、その名の通り、将来医療に携わる者として「障害者」の問題を真摯に考えてゆこうと作られたサークルのようです。

表現がやや頼りないのは、文化系サークルの全般的退潮の例に洩れず、障問研も開店休業状態の時期が若干あって、必ずしも縦の繋がりがうまくできていないためです。伝え聞くとところでは、昔の先輩方は、学祭での発表やボランティア活動など精力的に活動されていたようです。

現在は、生き残り部員の〇〇君(3年)と、学校の勉強だけでこのまま卒業してしまうことに何となく不安を抱いていた僕たちが、何とか再建しつつあるといった状況です。ボランティア実践重視のサークルは他にある(AVA)ので、障問研は次のような方針で活動してゆこうと考えています。

① 障害者と接する機会を多くもつ：マスメディア

を通してではなく、実際に障害者と接する機会は多くありません。そのため、ともしれば障害者に対する理解が抽象的なものになりがちです。とりあえずは、施設や作業所の見学を積極的に行うことから始めて、このような欠点を克服したいと考えています。

② 障害者の問題について、医療従事者が直面する様々な倫理的問題を学び、考える：医療技術の進歩の速さ、医療・福祉関係法規の相次ぐ改正などを考えれば、比較的時間に恵まれた学生のうちに、広い視点から様々な問題について学び、色々な人の意見を聞き、自分なりに考えることは、たとえ結論がすぐに出なくても有意義なことだと思います。

とはいうものの、今年度の活動実績としては、作業所見学1回、勉強会数回といったところで、他は部室で酒盛りをして各方面(書籍部、学生課、隣接の各サークルの皆様)にご迷惑をおかけするなど、余りパツとしません。とりあえずは焦らずめげず、ポチポチやってゆこうと思えますので、よろしくお願ひ致します。

## 講 師 紹 介



ひら た さとし  
氏 名 平 田 哲  
所 属 外科学第一講座  
出身大学 旭川医科大学  
ひと言

第一外科腫瘍グループで呼吸器外科、乳腺外科、食道疾患を中心とした消化器外科と広範囲な領域を扱っています。最近の内視鏡下手術も積極的におこなう次世代の外科をめざしております。良い先輩、後輩にめぐまれ楽しく仕事しております。



やま もと あけ み  
氏 名 山 本 明 美  
所 属 皮膚科学講座  
出身大学 旭川医科大学  
ひと言

微力ながらも橋本・高橋講師とともに、飯塚教授をささえ、学生・後輩の教育、質の高い医療の達成、独創的な科学研究の推進に貢献したいと考えております。なにぶん若輩ですので、関係各位のご理解とご協力をお願いするしだいです。



お ぼ ら たけし  
氏 名 小 原 剛  
所 属 内科学第三講座  
出身大学 旭川医科大学  
ひと言

胆・膵疾患の画像診断、内視鏡的診断と治療および胆・膵腫瘍の臨床病理学的研究を専門として行っております。この領域に興味のある先生達と一緒に仕事が出来るのを楽しみにしております。



たか はし ひで とし  
氏 名 高 橋 英 俊  
所 属 皮膚科学講座  
出身大学 旭川医科大学  
ひと言

旭川医大7期卒です。まだまだ臨床、研究面で未熟な点が多く諸先生方に御迷惑をかける点が多いかと思いますが宜しくお願いします。



お の みおる  
氏 名 小 野 稔  
所 属 内科学第三講座  
出身大学 旭川医科大学  
ひと言

この度第三内科講師を拝命し、いささか緊張しております。専門分野は肝臓学病ですが、これからは診療・研究に加え、学生教育にも力を傾注しようと考えております。よろしく願い申し上げます。



やす かわ みどり  
氏 名 安 川 緑  
所 属 看護学科  
出身大学 東京医科歯科大学大学院  
ひと言

東京の喧噪を離れて早や5ヶ月、抽選で当たった“愛車”を駆っては、北海道の大自然を満喫しています。何といたってもここ北海道で「老人看護学」という、まだ緒についたばかりの研究分野を追求する好機に恵まれたことには大感謝です。どうぞよろしく!!



ない とう ひさし  
氏 名 内 藤 永  
所 属 英語  
出身大学 東北大学・文学部  
ひと言

研究テーマ：人間の言語能力の理論的解明を目指す生成文法。特に、格理語を中心とした比較統語論。“The whole earth was of one language.” Gen 11:1 寒さが非常に苦手ですが、周囲の暖かい人柄に支えられ、心身共に充実した毎日を送りたいと思います。

## 研究室紹介

■ ドイツ語 ■ 田中 剛

講義実習棟四階のほぼ中央にドイツ語教官室は位置している。スタッフは田中1名で、1988年8月に北海道大学文学部独文学講座助手から本大学に赴任して以来、基礎教育系言語文化部門に属する学科目の一つであるこの言語の教育を担当している。医学部におけるドイツ語教育をどのように理解し、実践してきたか、また、田中個人の研究の現状についても紹介を兼ねつつご報告したい。

ドイツ語は、第一学年で4単位（通年）、第二学年で2単位（前期）を履修せねばならず、英語より2単位少ないが必修科目として重要な位置を占めていることには変わりない。第二学年後期については、1993年より選択必修科目ドイツ語コースが開講されて、意欲のある学生に中級ドイツ語の教材を提供し、広い視野からドイツの歴史・文化等に接する機会を拡充した。学生にとって、履修開始から一年半後にドイツの新聞や雑誌の学術情報コラム等がオリジナ

ルな形で理解できるようになるのは、一種の感激であるはずなのだが、現実には語学に取り組む時間と根気の要求を前にして腰が引けてしまうようだ。しかし、「医学部だから」というような前提を立てず、教材をもとにドイツにかかわる様々な領域の話題を取り上げるのが当初からの方針である。コンピューターのおかげで、ドイツの時々刻々のニュースも画面上で即座に入手可能になった現在、これを日々の授業に如何に生かすかを思案中である。

田中個人の研究分野の一つである異文化解釈学と、上記の授業の局面は、「他者」としての異文化（das Anders-sein）を自国の文化（das So-sein）とどのような地平で相互理解させ得るか、の問題意識と重なっている。また、他の研究分野である現代ドイツ文学においては、主として戦後作家であるギュンター・グラスを中心に据えて、ドイツ統一後という現時点からこれまでのグラス像の再解釈の作業に取り組んでいる。

（ドイツ語 助教授）

## 医大祭を終えて

第22回医大祭実行委員会委員長

医学科第5学年 三関 哲矢

大学祭を成功裏に終えることができましたことを謹んで御報告申し上げます。当初四人でスタートした実行委員会でしたので、果たしてこれだけの人数で運営できるのかどうか非常に危惧致しましたが、それも杞憂だったように思われます。川田悦子さんの講演会やバンドコンテスト、花火などの企画に何らかの形で運営に参加してくれた人は多く、来年以降も大学祭を続けていけそうだという手ごたえは確実に残りました。

ただ、来年以降も大学祭の運営は非常に困難を極めるでしょう。というのは、中心となって働いてくれる人がなかなかいないのです。委員長然り、企画の責任者もです。この問題を解決しない限り、安定した大学祭の運営は望めません。実際に企画の運営を手伝ってくれる人は結構沢山いるのですから、後は中心たり得る人がいれば大学祭は大成功を収めます。もちろん私は来年も大学に居りますし、大学祭の成功のためにはいかなる努力も惜しまない覚悟ですが、残念ながら私はもはや大学祭の中心にいるべき人間ではないのです。少なくとも今の二年生の一部は大学祭のノウハウについてはある程度は分

かっているはずですから、下級生の皆さんが中心になって大学祭を作り上げていくことは充分可能です。結局大学祭が成功するか否かは皆さんの気概にかかっているのです。

私自身、当たり前のことですが、委員長は初めての経験でした。これから医師を目指そうとする者は必ず職場での人間関係の構築、コミュニケーションが不可欠ですが、そうした重要なこともこの大学祭から学べたような気がします。これだけの大学祭をやり終えて非常に満足しましたし、自分たちがやってきたことに対する自信もつきました。

最後に、私をご支援して下さいました諸先生方、並びに学生課を初めとする事務の皆様方、快く協力を申し出て下さった関係諸氏に深く感謝の意を表し、実行委員長の挨拶とさせていただきます。



## 第43回 北海道 地区大学体育大会

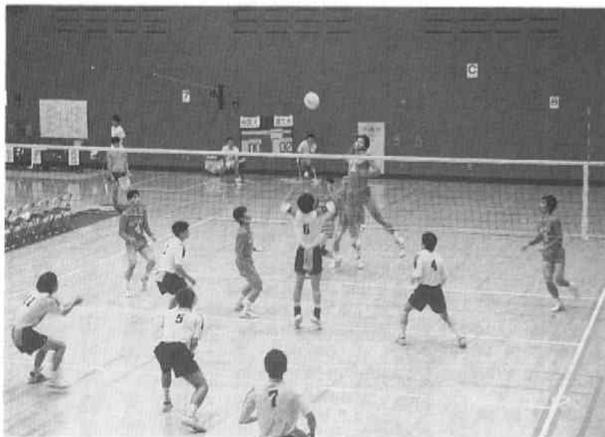
第43回北海道地区大学体育大会が、帯広畜産大学の当番で、7月11日(木)～14日(日)まで開催されました。

道内の国公立大学45校が参加し、本学からは男子8種目、女子5種目に参加して熱戦を繰り広げ、準硬式野球と卓球女子が第3位と健闘いたしました。

参加種目の成績は次のとおりです。

(学生課)

種目	順位		旭川医大	
	優勝	準優勝		
陸上競技	男	学院大	北大	第18位
	女	学院大	旭教大	第12位
準硬式野球	札医大 函教大			第3位
バスケット	男	道都大	北海学園	3回戦
ボール	女	札教大	酪農学園	2回戦
バレー	男	北星学園	道都大	2回戦
ボール	女	旭教大	北海学園	1回戦
卓球	男	北海学園	北大	予選リーグ
	女	道医療大	北海学園	第3位
剣道	男	道東海旭	旭川大	予選リーグ
弓道	男	樽商大	室工大	
	女	北大	学院大	
ハンドボール	男	北大	学院大	1回戦
総合	男	北海学園	道都大	第16位
	女	道医療大	北大	第13位



(男子バレーボール)

## 第39回 東医体(夏季) 開催される

第39回東日本医科学生総合体育大会(夏季大会)が、日本大学医学部の主管で、7月20日(土)～8月11日(日)まで36校が参加して行われました。

本学からは男女あわせて25種目に参加。

参加種目の成績は次のとおりです。(学生課)

種目	順位		優勝	準優勝	第3位
	男	女			
陸上	男		筑波大	弘前大	昭和大
準硬式野球			自治医大	山形大	札医大
テニス	男		自治医大	順天堂大	千葉大
	女		日本医大	東女医大	福島医大
ソフトテニス	男		群馬大	山形大	札医大
	女		群馬大	信州大	新潟大
卓球	男		山梨医大	新潟大	東北大
	女		信州大	福島医大	群馬大
バレーボール	男		信州大	北大	群馬大
	女		杏林大	新潟大	筑波大
バドミントン	男		福島医大	東北大	旭川医大 札医大
	女		福島医大	新潟大	旭川医大 群馬大
サッカー			順天堂大	東北大	筑波大
バスケット	男		山形大	自治医大	東北大
ボール	女		山形大	聖マリアンナ 医大	東邦大
柔道			信州大	山形大	北大
剣道			慶応大	福島医大	昭和大
弓道			東北大	新潟大	旭川医大
空手道			防衛医大	日本医大	獨協医大
水泳	男		慶応大	新潟大	弘前大
	女		秋田大	順天堂大	東女医大
ハンドボール			自治医大	山梨医大	北大
ゴルフ	男		弘前大	順天堂大	日本大
	女		日本医大	昭和大	東京医大
ラグビー			新潟大	弘前大	自治医大

- 団体 卓球女子 4位
- 個人 卓球シングルス女子 木村 麻里 4位
- 弓道男子 水上 創 6位
- 陸上3000mSc男子 駒林 優樹 3位
- 陸上円盤投男子 松尾公美浩 3位

## 平成8年度 後期分授業料免除 及び延納・分納について

平成8年度後期分授業料免除及び延納・分納を希望する学生で、下記基準のいずれかに該当すると思われる学生は、教務部学生課厚生係で必要書類を受け取り下記の期間内に申請して下さい。

なお、申請者については、選考の間授業料の納入を猶予します。

また、不明な点は、同係に問い合わせ願います。

### 記

#### 1. 授業料免除基準

- (1) 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合

なお、平成8年度において原級に留置されている者又は、最短修業年限を越えて在学している者は、免除の対象としない（休学の理由による者を除く。）

- (2) 授業料納期前6ヵ月以内(新生入生については、入学前1年以内)において学生の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) (2)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

#### 2. 申請書類

- (1) 授業料免除申請書
- (2) 学資負担者が死亡した場合は死亡診断書(写)
- (3) 災害を受けた場合は罹災証明書(市区町村、警察、消防署が発行したもの。)
- (4) 市区町村発行の所得証明書(給与所得者については、平成7年分の源泉徴収票を、給与所得者以外については、平成7年分の確定申告書(一面・二面)等の写し(生計を一にする家族全員分)を、また、学資負担者が死亡した場合は、死亡前の所得証明書を併せて添付すること。)
- (5) 失業者は、民生委員又は職業安定所の証明書
- (6) 生命保険金の支払いを受けた場合は、当該保険会社の保険金支払証明書
- (7) 家族の中に就学者がいる場合は、その者(申請者本人及び義務教育の就学者は除く)の在学証明書
- (8) その他家庭事情により参考となる証明書等

#### 3. 申請期間

平成8年9月2日(月)～9月20日(金)

## 平成8年度 日本育英会奨学生の募集について

日本育英会は、優秀な学生で経済的理由のため就学困難な者に学資を貸与しております。

本学では、日本育英会からの推薦依頼に基づき、出願者の種々の条件を考慮して選考を行い、日本育英会へ推薦します。

ただし、日本育英会では奨学金貸与の種別ごとに推薦基準が定められており、その資格があっても採用枠の関係で推薦できない場合があります。

奨学生補充の募集があった場合は、公用掲示板に掲示しますので、貸与を希望する学生は、提出期限に遅れないよう所定の書類を教務部学生課厚生係に提出してください。

なお、募集の時期以外に家計の急変により、学資の支弁に困難な事情が生じた場合は、同係に相談してください。

## 学生教育研究災害傷害保険の加入について

本学は、学生の正課中・課外活動中・通学中および大学の授業等、学校行事または課外活動で施設間移動中における災害事故補償のために『学生教育研究災害傷害保険』の賛助会員大学となり下記のとおり加入受付事務等を行っています。本保険は、学生の互助共済を基本として運営されており、学生生活中の万一の場合に備え、できるだけ全員の加入を勧めています。

なお、本年4月より通学中等傷害危険担保特約が付帯されました。

まだ加入していない学生、保険期間の切れている学生は教務部学生課厚生係に申し込んでください。

### 記

#### 1. 受付期間

平成8年10月1日(火)～平成8年10月31日(木)

#### 2. 受付窓口

教務部学生課厚生係

#### 3. 保険料(通学中等傷害危険担保特約含む)

6年間	4,300円	(900円)
5年間	3,750円	(800円)
4年間	3,100円	(650円)
3年間	2,400円	(500円)
2年間	1,650円	(350円)
1年間	950円	(200円)

( )は通学中等傷害危険担保特約保険料分

#### 4. 支払い保険金の種類と金額

区分	正課中 学校行事中	学校施設内の休憩中 学校施設内外の課外活動中 (学校施設外の課外活動中 については、大学に届出た活 動に限る。)
死亡保険金	1,200万円	600万円
後遺障害保険金	54万円～1,800万円	27万円～900万円
医療保険金	実治療日数4日 以上が対象 6千円～30万円	実治療日数14日 以上が対象 3万円～30万円
入院加算金	1日につき4,000円	1日につき4,000円

通学中等傷害危険担保特約	
区分	通学中、大学の授業等、 学校行事または課外活動 で施設間移動中
死亡保険金	600万円
後遺障害保険金	27万円～900万円
医療保険金	実治療日数14日 以上が対象 3万円～30万円
入院加算金	1日につき4,000円

## 卒業生の動向

去る3月25日(月)に本学を卒業した99名の勤務(連絡)先は次のとおりです。

また、3月に行われた第90回医師国家試験には本学卒業生102名が受験し、91名(平成7年度卒業生90名)が合格しました。(学生課)

## 看護学科新入生研修

平成8年度看護学科新入生研修が5月23日(木)、本学第5セミナー室で実施されました。

この研修は、新入生の皆さんが少しでも早く大学生活に慣れ、心身共に豊かで明るい学生生活を送ってもらおうと企画したものです。

看護学科及び一般教育の先生方の助言、新入生の自己紹介など、終始和やかで華やかな雰囲気の中、瞬く間の2時間が過ぎました。(学生課)



## 外国人留学生交流会 実施される

7月31日(水)外国人留学生オリエンテーション及び交流会が、旭川市の優佳良織工芸館、国際染色美術館、雪の美術館等の施設で実施されました。

これは留学生を市内近郊の文化施設に案内し、日本を理解してもらうとともに、指導教官、チューター、職員及び留学生相互の交流を図ることを目的に毎年実施しているものです。

優佳良織工芸館を見学の後、パークゴルフで、青空の下気持ちの良い汗を流し、大いに交流を深めることができました。

(学生課)



(雪の美術館)

## 教官の異動

辞職 96.5.15 第三内科 講師 関谷 千尋  
採用 96.6.1 英語 講師 内藤 永昇  
昇任 96.6.1 第三内科 講師 小野 稔



# 外 窓

岩田 銀子

### 新しい看護学科に希望を託して

今年から開設された医学部看護学科に4月に着任しました。担当は母性看護学(助産学を含む)です。新しい環境に適應するには、やはりいろいろと紆余曲折があり、4ヶ月経て大部周囲が見えるようになり、自分の居場所が出来てきたといったところでしょうか。

さて、創設期というのは困難が付きもので、右往左往して方向が定まらなく、無駄なエネルギーを使い、くたびれることも多い反面、創造する喜びや理想を追求する喜びもあるといえる。

昨今、看護教育の大学化は社会の要請でもあり、ここ数年の間にその数が急増している。今日、少子化に伴う受験生の減少と高学歴化は大学が選ばれる立場にたたされ、大学が個性化、多様化をはかり魅力的な大学への変身が問われることになる。看護教

育も行く先、このような大学の危機に立たされる時がくることと思われる。

私は着任して初めて大学教育に携わることになり、微力ながらカリキュラムの見直しや構築という作業にかかわる中で大学教育の難しさと重要性を痛感している。大学教育カリキュラムは職業能力に向けて、速成、即効教育を目指した専門学校・短大とは違うはずである。少なくとも、物事を捉え、分析、統合、構築していくための基礎学力内容としては決して同等ではない。そこで、大学教育に於けるカリキュラムや教育方法が問われることになるといえる。

また、わが国の看護教育は、その教育課程がいまだ医学の学問体系の枠組みを脱し切れない現状があるが、今日、看護学は、その目的において医学と異なることが明らかであり、そして、看護学は人間を対象とする学問体系として確立しつつあるといわれている。

他の学問領域から較べるとまだまだ未熟な看護学であり、併せて私自身も未熟なものです。よい大学になるか否かは大学や教官の一方的な働きかけではなく教官と学生の相互作用が大きな比重を占めるものと考えます。旭川医科大学看護学科がよりよく充実するために、学生の皆さんとも力を併せて築いて行きたいと思っています。

(看護学科 助教授)